

平成30年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）



平成29年7月27日

上場会社名 日立化成株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4217 URL http://www.hitachi-chem.co.jp
 代表者 (役職名) 執行役社長 (氏名) 丸山 寿
 問合せ先責任者 (役職名) 経営戦略本部 コーポレート コミュニケーションセンタ長 (氏名) 高松 明彦 (TEL) 03-5533-7149
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年6月30日）

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

項目	売上収益		営業利益		税引前 四半期利益		四半期利益		親会社株主に 帰属する 四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	152,042	21.6	13,624	13.2	15,204	50.1	11,474	58.2	11,193	54.9	13,627	—
29年3月期第1四半期	125,042	△9.1	12,036	9.8	10,129	△15.0	7,253	△14.9	7,224	△13.4	△7,757	—
項目	基本的1株当たり 四半期利益		希薄化後1株当たり 四半期利益									
	円	銭	円	銭								
30年3月期第1四半期	53	75	—	—								
29年3月期第1四半期	34	69	—	—								

(注) 「基本的1株当たり四半期利益」は、「親会社株主に帰属する四半期利益」を基に算定しております。

(参考) 経常的な事業収益力として、要約四半期連結損益計算書の「営業利益」から「その他の収益」及び「その他の費用」を除いた金額は、平成29年3月期第1四半期が11,297百万円、平成30年3月期第1四半期が13,642百万円です。

(2) 連結財政状態

項目	資産合計		資本合計		親会社株主持分		親会社株主 持分比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	614,097		382,033		375,591		61.2	
29年3月期	600,485		376,055		369,618		61.6	

2. 配当の状況

項目	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
29年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	25.00	—	30.00	55.00
30年3月期(予想)	—	30.00	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

項目	売上収益		営業利益		税引前当期利益		当期利益		親会社株主に帰属する 当期利益		基本的1株 当たり当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	610,000	10.1	58,000	9.1	60,000	10.3	44,000	8.1	42,500	5.8	204.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(参考) 連結損益計算書の「営業利益」から「その他の収益」及び「その他の費用」を除いた金額は61,000百万円です。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1社 (社名) PCT Cell Therapy Services, LLC 、除外 1社 (社名) Japan Brake (Thailand) Co., Ltd.

- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

- (3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数 (四半期累計)

30年3月期1Q	208,364,913株	29年3月期	208,364,913株
30年3月期1Q	137,665株	29年3月期	136,862株
30年3月期1Q	208,227,686株	29年3月期1Q	208,231,622株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。業績予想に関する事項は、【添付資料】P. 4「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

【添付資料】

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	P. 5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	P. 6
(要約四半期連結損益計算書)	P. 6
(要約四半期連結包括利益計算書)	P. 7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	P. 8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 10
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 11
(継続企業の前提に関する注記)	P. 11
(セグメント情報等)	P. 11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

2017年4月1日から同年6月30日までの売上収益は、半導体実装分野の堅調な需要を背景とした半導体回路平坦化用研磨材料や銅張積層板等の売上増をはじめ、環境対応自動車向けのリチウムイオン電池用カーボン負極材の売上増、新規案件立ち上げに伴う自動車部品の売上増のほか、鉛蓄電池を製造・販売するイタリア共和国のFIAMM Energy Technology S.p.A.を前年度第4四半期に連結子会社化したこと等から、1,520億42百万円(前年同期比21.6%増)と前年同期実績を上回りました。

また、営業利益は、物量増や継続的な原価低減等により、136億24百万円(前年同期比13.2%増)、税引前四半期利益、親会社株主に帰属する四半期利益は、営業利益の増加に加えて為替差益の計上により、それぞれ152億4百万円(前年同期比50.1%増)、111億93百万円(前年同期比54.9%増)と、前年同期実績を上回りました。

セグメント別の事業の状況は以下のとおりです(各セグメントの売上収益は、セグメント間内部売上収益消去後の数値を記載)。

機能材料セグメント

当セグメントの売上収益は前年同期実績の11.1%増に当たる711億84百万円となりました。

①電子材料

半導体用エポキシ封止材は、中国市場における売上が増加したこと等により、前年同期実績を上回りました。

半導体用ダイボンディング材料は、一部顧客の需要が減少したこと等により、前年同期実績を下回りました。

半導体回路平坦化用研磨材料は、SSD向け等の売上が増加したことにより、前年同期実績を上回りました。

電気絶縁用ワニスは、海外市場における自動車向け等の売上が増加したことにより、前年同期実績を上回りました。

②無機材料

リチウムイオン電池用カーボン負極材は、環境対応自動車向けの売上が増加したことにより、前年同期実績を上回りました。

カーボン製品は、ディスプレイ製造装置向けの売上が増加したことにより、前年同期実績を上回りました。

③樹脂材料

機能性樹脂は、食品包装用樹脂が堅調に推移したほか、硬化剤の売上が増加したこと等により、前年同期実績を上回りました。

ディスプレイ用回路接続フィルムは、テレビ向け等の売上が増加したことにより、前年同期実績を上回りました。

タッチパネル周辺材料は、スマートフォン向け等の売上が増加したことにより、前年同期実績を上回りました。

粘着フィルムは、半導体モールド用離型フィルムの売上が増加したこと等により、前年同期実績を上回りました。

④配線板材料

銅張積層板は、スマートフォン向け等のパッケージ用基板の売上が増加したことにより、前年同期実績を上回りました。

感光性フィルムは、スマートフォン向けの売上が増加したことにより、前年同期実績を上回りました。

先端部品・システムセグメント

当セグメントの売上収益は前年同期実績の32.6%増に当たる808億58百万円となりました。

①自動車部品

樹脂成形品、摩擦材は、新規案件の立ち上げ等により、前年同期実績を上回りました。

粉末冶金製品は、ターボエンジン用部品の売上が増加したこと等により、前年同期実績を上回りました。

②蓄電デバイス・システム

車両用電池、産業用電池・システムは、前年度第4四半期にFIAMM Energy Technology S.p.A.を連結子会社化したこと等により、前年同期実績を上回りました。

キャパシタは、風力・太陽光発電向けの需要が減少したことにより、前年同期実績を下回りました。

③電子部品

配線板は、ICTインフラ向けの売上が増加したこと等により、前年同期実績を上回りました。

④その他

診断薬・装置は、アレルギー診断薬の売上が減少したこと等により、前年同期実績を下回りました。

(2)財政状態に関する説明

①資産、負債及び資本の状況

イ. 資産

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末から136億12百万円増加し、6,140億97百万円となりました。

流動資産は、需要の季節変動への対応等によって棚卸資産が増加したこと等により、前連結会計年度末から9億82百万円増加しました。

非流動資産は、企業結合に伴う投資差額等により主として無形資産が増加し、前連結会計年度末から126億30百万円増加しました。

ロ. 負債

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末から76億34百万円増加し、2,320億64百万円となりました。

流動負債は、賞与の支払等により主として未払費用が減少し、前連結会計年度末から40億27百万円減少しました。

非流動負債は、企業結合に伴う資金需要増等により主として社債及び借入金が増加し、前連結会計年度末から116億61百万円増加しました。

ハ. 資本

当第1四半期連結会計期間末の資本合計は、前連結会計年度末から59億78百万円増加し、3,820億33百万円となりました。これは四半期利益を計上したこと等により利益剰余金が増加したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末から56億86百万円減少し、1,019億63百万円となりました。

イ. 営業活動によるキャッシュ・フロー

当第1四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、四半期利益が増加し、買入債務が減少したこと等から、前年同期実績と同額の82億76百万円の収入となりました。

ロ. 投資活動によるキャッシュ・フロー

当第1四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、子会社株式の取得による支出が増加したこと等から、前年同期実績と比較して110億23百万円多い、190億26百万円の支出となりました。

ハ. 財務活動によるキャッシュ・フロー

当第1四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入が増加したこと等から、前年同期実績と比較して114億73百万円多い、44億2百万円の収入となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2017年5月11日に公表しました連結業績予想から変更はありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位:百万円)

項目	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2017年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び現金同等物	107,649	101,963
売上債権	133,520	134,439
棚卸資産	65,182	73,384
その他の金融資産	21,460	18,082
その他の流動資産	4,251	5,176
流動資産合計	332,062	333,044
非流動資産		
有形固定資産	186,633	189,834
無形資産	27,486	38,008
退職給付に係る資産	10,001	10,112
繰延税金資産	11,827	11,720
持分法で会計処理されている投資	8,484	7,371
その他の金融資産	17,819	17,571
その他の非流動資産	6,173	6,437
非流動資産合計	268,423	281,053
資産合計	600,485	614,097
負債の部		
流動負債		
買入債務	80,924	83,999
社債及び借入金	27,351	30,303
未払費用	27,251	22,946
未払法人所得税	8,680	5,330
その他の金融負債	22,907	20,586
その他の流動負債	3,787	3,709
流動負債合計	170,900	166,873
非流動負債		
社債及び借入金	18,545	28,484
退職給付に係る負債	15,047	15,106
引当金	1,368	1,313
その他の金融負債	14,865	16,457
その他の非流動負債	3,705	3,831
非流動負債合計	53,530	65,191
負債合計	224,430	232,064
資本の部		
資本金	15,454	15,454
資本剰余金	—	—
自己株式	△234	△236
利益剰余金	340,444	344,235
その他の包括利益累計額	13,954	16,138
親会社株主持分合計	369,618	375,591
非支配持分	6,437	6,442
資本合計	376,055	382,033
負債及び資本合計	600,485	614,097

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書
 (要約四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

項目	前第1四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)
売上収益	125,042	152,042
売上原価	△90,780	△112,090
売上総利益	34,262	39,952
販売費及び一般管理費	△22,965	△26,310
その他の収益	1,647	1,185
その他の費用	△908	△1,203
営業利益	12,036	13,624
金融収益	389	1,029
金融費用	△3,146	△431
持分法による投資損益	850	982
税引前四半期利益	10,129	15,204
法人所得税費用	△2,876	△3,730
四半期利益	7,253	11,474
四半期利益の帰属		
親会社株主持分	7,224	11,193
非支配持分	29	281
親会社株主に帰属する1株当たり四半期利益(円)		
基本的1株当たり四半期利益	34.69	53.75
希薄化後1株当たり四半期利益	—	—

(要約四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

項目	前第1四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)
四半期利益	7,253	11,474
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
FVTOCIの金融資産の公正価値の純変動額	△817	257
確定給付制度の再測定	—	—
合計	△817	257
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△13,870	1,887
キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の 純変動額	8	8
持分法によるその他の包括利益	△331	1
合計	△14,193	1,896
その他の包括利益合計	△15,010	2,153
四半期包括利益	△7,757	13,627
四半期包括利益の帰属		
親会社株主持分	△7,326	13,377
非支配持分	△431	250

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)

(単位:百万円)

項目	親会社株主持分					
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の包括利益累計額	
					FVTOCIの 金融資産	確定給付制度の 再測定
期首残高	15,454	8,004	△223	317,447	2,690	4,475
四半期利益				7,224		
その他の包括利益					△817	
四半期包括利益合計	—	—	—	7,224	△817	—
配当金				△5,206		
自己株式の取得			△2			
自己株式の処分						
企業結合による変動						
非支配持分の取得		△70				
利益剰余金から資本剰余金 への振替						
その他の包括利益累計額から 利益剰余金への振替				△144	144	
その他の増減						
所有者との取引額等合計	—	△70	△2	△5,350	144	—
四半期末残高	15,454	7,934	△225	319,321	2,017	4,475

項目	親会社株主持分			合計	非支配持分	資本合計
	その他の包括利益累計額					
	在外営業活動体 の換算差額	キャッシュ・ フロー・ヘッジ	合計			
期首残高	8,368	△8	15,525	356,207	6,315	362,522
四半期利益				7,224	29	7,253
その他の包括利益	△13,741	8	△14,550	△14,550	△460	△15,010
四半期包括利益合計	△13,741	8	△14,550	△7,326	△431	△7,757
配当金				△5,206	△102	△5,308
自己株式の取得				△2		△2
自己株式の処分				—		—
企業結合による変動				—		—
非支配持分の取得				△70	△323	△393
利益剰余金から資本剰余金 への振替				—		—
その他の包括利益累計額から 利益剰余金への振替			144	—		—
その他の増減				—		—
所有者との取引額等合計	—	—	144	△5,278	△425	△5,703
四半期末残高	△5,373	—	1,119	343,603	5,459	349,062

当第1四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)

(単位:百万円)

項目	親会社株主持分					
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の包括利益累計額	
					FVTOCIの 金融資産	確定給付制度の 再測定
期首残高	15,454	—	△234	340,444	2,752	6,229
四半期利益				11,193		
その他の包括利益					257	
四半期包括利益合計	—	—	—	11,193	257	—
配当金				△6,247		
自己株式の取得			△2			
自己株式の処分		0	0			
企業結合による変動						
非支配持分の取得						
利益剰余金から資本剰余金 への振替		1,155		△1,155		
その他の包括利益累計額から 利益剰余金への振替						
その他の増減		△1,155				
所有者との取引額等合計	—	—	△2	△7,402	—	—
四半期末残高	15,454	—	△236	344,235	3,009	6,229

項目	親会社株主持分					
	その他の包括利益累計額			合計	非支配持分	資本合計
	在外営業活動体 の換算差額	キャッシュ・ フロー・ヘッジ	合計			
期首残高	4,852	121	13,954	369,618	6,437	376,055
四半期利益				11,193	281	11,474
その他の包括利益	1,919	8	2,184	2,184	△31	2,153
四半期包括利益合計	1,919	8	2,184	13,377	250	13,627
配当金				△6,247	△141	△6,388
自己株式の取得				△2		△2
自己株式の処分				0		0
企業結合による変動				—		—
非支配持分の取得				—		—
利益剰余金から資本剰余金 への振替				—		—
その他の包括利益累計額から 利益剰余金への振替				—		—
その他の増減				△1,155	△104	△1,259
所有者との取引額等合計	—	—	—	△7,404	△245	△7,649
四半期末残高	6,771	129	16,138	375,591	6,442	382,033

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

項目	前第1四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
四半期利益	7,253	11,474
減価償却費及び償却費	6,719	7,694
法人所得税費用	2,876	3,730
受取利息及び受取配当金	△388	△384
支払利息	305	368
持分法による投資損益(△は益)	△850	△982
売上債権の増減額(△は増加)	△3,449	878
未収入金の増減額(△は増加)	582	4,093
棚卸資産の増減額(△は増加)	△2,062	△6,608
買入債務の増減額(△は減少)	6,476	1,487
退職給付に係る資産及び負債の増減額	△50	△122
その他	△2,124	△6,731
小計	15,288	14,897
利息及び配当金の受取額	459	426
利息の支払額	△203	△250
法人所得税の支払額	△7,268	△6,797
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,276	8,276
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△7,774	△10,453
有形固定資産の売却による収入	153	786
有価証券等の売却及び償還による収入	77	764
子会社株式の取得による支出	—	△8,325
有価証券等の取得による支出	△347	△130
その他	△112	△1,668
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,003	△19,026
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△225	2,608
長期借入れによる収入	—	11,697
長期借入金の返済による支出	△1,050	△2,808
非支配持分株主からの子会社持分取得による支出	△393	—
配当金の支払額	△5,206	△6,247
非支配持分株主への配当金の支払額	△102	△141
その他	△95	△707
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,071	4,402
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6,072	662
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△12,870	△5,686
現金及び現金同等物の期首残高	119,988	107,649
現金及び現金同等物の期末残高	107,118	101,963

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項
 (継続企業の前提に関する注記)
 該当事項なし

(セグメント情報等)

報告セグメントごとの収益及び損益

前第1四半期連結累計期間(自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)

(単位:百万円)

項目	報告セグメント			調整額 (注)	合計
	機能材料	先端部品・システム	計		
売上収益					
外部顧客への売上収益	64,082	60,960	125,042	—	125,042
セグメント間の売上収益	1,039	335	1,374	△1,374	—
合計	65,121	61,295	126,416	△1,374	125,042
セグメント損益	10,673	1,284	11,957	79	12,036
金融収益	—	—	—	—	389
金融費用	—	—	—	—	△3,146
持分法による投資損益	—	—	—	—	850
税引前四半期利益	—	—	—	—	10,129

(注) セグメント損益の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

当第1四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)

(単位:百万円)

項目	報告セグメント			調整額 (注)	合計
	機能材料	先端部品・システム	計		
売上収益					
外部顧客への売上収益	71,184	80,858	152,042	—	152,042
セグメント間の売上収益	1,145	352	1,497	△1,497	—
合計	72,329	81,210	153,539	△1,497	152,042
セグメント損益	11,172	2,469	13,641	△17	13,624
金融収益	—	—	—	—	1,029
金融費用	—	—	—	—	△431
持分法による投資損益	—	—	—	—	982
税引前四半期利益	—	—	—	—	15,204

(注) セグメント損益の調整額は、セグメント間取引消去額であります。